

10  
月号

第381号

# いっしん

平成28年(2016年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

み教えを  
鏡と己が  
姿をば  
映してぞ見む  
日毎夜毎に  
甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師神歌



霊前で霊祭詞を奏上



参拝者全員が  
順に玉串を奉てん  
させていただきました



ヒガンバナ



## 秋季霊祭 仕えられる

鹿児島県の野山に彼岸花が開いた、九月二十二日の秋分の日、加治木教会では秋季霊祭が仕えられました。

午前十時半より、教会長先生ご祭主のもと、ご神前で奏上祭が仕えられ、ご霊前に転座後は、加治木教会にご縁のある教徒から信徒のすべてのご霊神のみ名を読み上げられて、ご霊神様方にお礼申し、お慰め・お称え申し上げて、親神様のお恵みを受けられてひととき高い位のご霊神となられ、ご安心され家族親族を守り導く働きがでえられるようお祈り申し上げる祭詞が奏上されました。

ご霊前では、祭詞奏上後、参拝者全員が順にご霊前に玉串を奉奠させていただきます、ご祭典後、参拝者一同で茶話会の直会が開かれました。

鹿児島県は、蔓蓼の花の消費が日本一です。先人の苦勞・ご恩を大切に

する心が深いのでしょうか。

信心させていただくお互いは、もう一歩進んで「天地の大神」に心の眼を開いて、先人・親先祖の助かりを祈らせていただきますように。

秋季霊祭…P1 甘木親教会「信徒の集い」…P2～3 「信奉者研修会」…P4～5  
「平成28年熊本地震復興祈願詞」…P6 お知らせ…P7 行事予定…P8

甘木親教会

# 「信徒の集い」

開かれる

九月三日（土）・四日（日）

九月三日、甘木親教会では報徳の月例祭（毎月三日）が午前十時から仕えられ、月例祭に続いて、「信奉者集会」が加治木教会からの参拝者が到着した十一頃から午後二時前まで開かれました。



お広前で「信徒の集い」開会の御祈念



2時間ほどの  
班別懇談も  
時間が足りない  
ほどに話しの  
尽きない  
班もありました



「信奉者集会」は毎月三日の月例最後に開かれる研修会で、最初に甘木親教会の信徒の方が二名、続いて出社・関係教会の信徒一名、続いて出社・関係教会の先生一名が感話発表をされました。

ある出社教会の高齢の女性信徒の方は、戦中・戦後の厳しい時代から今日までの信心体験と、長男がお道の御用のおかげを頂き現在埼玉県の教会で御用のおかげを蒙らせていただくことになるまでのことをしめじみとお話しされました。

その後、甘木親教会の親先生のご教話があり「信奉者集会」の結びとなりました。

今回の「信徒の集い」は、「信奉者集会」終了後の午後二時から始まりました。

甘木親教会をはじめ、手続・関係教会から七十数名の信徒が集い、一泊二日の信心研修会となりました。

第一日目の開会式後、親先生のご教話を拝聴させていただいた後、正面玄関前で記念撮影があり、班別懇談が二時間ほどありました。





親先生のご教話を拝聴中の参加者一同

班別懇談は、一班十人ほどで七班に分かれて行われ、自己紹介に始まり、親先生のご教話について、各教会での信心の稽古の取り組みなどについて語り合われました。

第二日目は、朝の御祈念に一同でおかけを蒙らせていただきました。

四日は初代親先生の立日（祥月命日）で、朝御祈念後に奥津城参拝となつていきますので、参拝者一同で奥津城に参拝し御祈念を仕え、教会に

戻ってきて境内やお広前の掃除のおかけを蒙らせていただきました。



奥津城へ参拝し参加者一同も御祈念を...



奥津城参拝後お広前と境内の清掃を



朝食後再び班別懇談が九十分ほどあり、その後全体懇談で班別発表などがあり、一泊二日で信心の勉強・研修・仕入れに参加者一同一生懸命でした。

## 「信徒の集い」

に参加させていただいて。

（上田和也）

今回は数年ぶりに参加をさせていただき、以前より参加者が多く、ま

た、以前見かけない信者さん方も多くおられました。

「信徒の集い」が始まって、恒例の班別懇談では「最近では自分も金光教に関する本を読んだりしている」で、意見を言いやすくなっている」と自負していたのですが、いざその場になってみると案外何も言えませんでした。

司会の方に話題を振られても思うように答えられなく、情けない思いをしました。

それに比べ、よその教会から参加された方たちは、若い方たちも次から次へと意見を出してありました。

「まだまだ自分には勉強が足りないんだ」と



上田和也さん

実感し、さらなる向上心が生まれてきたように思います。

他所の教会からの参加者（信者さん方）に肩を並べられるように、信心の稽古に精進しなくてはいけないと痛感させられました。

鹿児島地方教会連合会 主催

## 第二十三回 信奉者研修会

開催される

初秋の空が晴れ渡った九月十一日（日）、志布志教会において、第二十三回 信奉者研修会が開催されました。

信心発表は、大口教会在籍の入木田久江さんで、講題は「母の信心」でした。入木田久江さんのご主人の入木田 覺さんを信心の道に導かれた、岡元ヒロさん（入木田久江さんの実母）の信心についてのお話をされました。

午後からは、質疑応答や、大口教会長安武秀信先生による補足と、連合会長（志布志教会長）馬渡三郎先生による講評を聴かせていただきました。

入木田久江さんの穏やかなお人柄が現れた、和やかな研修会となりました。

金光教志布志教会



質問に答えられる  
入木田 覺 氏



感話の補足をされる  
安武秀信先生



連合会長挨拶をされる  
馬渡三郎先生



大口教会 入木田久江氏



司会は、鹿児島教会 内門三朗氏で研修が進められた

### 「信奉者研修会」

に参加させていただいて。（萬代孝子）



今回の「信奉者研修会」で、入木田久江さん（大口教会在籍）の発表を聴かせていただき、ご主人の入木田 覺さんが現在熱心に、連合会の信徒部会長などの御用をされてある原点には、お義母様のご信心があることがわかり驚かされました。

ご主人の入木田 覺さんがC型肝炎を患われたとき、お義母様が毎日教会へ二度も三度も熱心に参拝され御祈念されてある姿が、未信奉者であった入木田 覺さん本人が参拝されるきっかけとなったということでした。

熱心に娘婿の病氣回復を願い、信心話をされ、道を伝えられたとのことでしたが、簡単なことではなかったことと思います。

今回、入木田久江さんのお話を直に聴かせていただくことができ、私の信心生活に大きなプラスとなりました。

自分もこれから先、子どもや身内に信心を伝えていけるよう努めさせていただきます。と思います。

## 【入木田久江氏の感話の要旨】

私は、昭和十七年、現在は霧島市となっている北永野田で生まれしました。当時、両親は信国幾雄先生の御用される国分教会に参拝していました。弟と妹と三人姉弟で、子どもの頃から教会に連れられてお参りさせていたいております。

母は信心熱心で、私も弟も小学校の修学旅行には行かず、母が御本部参拝に連れて行ったのを覚えております。

父は坑木商（炭鉱の坑道に使う材木を商う）を営み私が子どもの頃は大変裕福な暮らしをしていましたが、不渡りを出してから、食へ物にも事欠くような苦しい生活になりました。

そのようなときに、道路を隔てたお茶工場が火事になり、母は神様に一心におすがりし、類焼をまぬがれました。後で御神前の御神米を見ると、不思議なことに御神米の真ん中だけが黒焦げになっており、母は「家の身代わりになって下さった」と言って、すぐに教会まで御礼参拝をしました。



大口教会 入木田久江氏

のりを歩いて参拝し、一生懸命神様にすがり、信心の稽古を進めました。母はよく、三代金光様、安武松太郎先生、中山亀太郎先生のお話を聞かせてくれていました。

私は、昭和三十三年高校へは行かず、教会の先生の勧めで大口の地で美容師の修行に入りました。

昭和四十年に郵便局に勤める主人と結婚し、五十二年主人はC型肝炎を発病し療養生活となり、母が大口まで来て家事を手伝いながら、大口教会へ朝夕参拝して主人（入木田 覺氏）の回復をお願いしてくれました。

昭和五十二年十一月、主人はある寒い朝、母を追うようにして初めて教会に参拝したのが、主人の入信です。それから、主人と母は夜遅くまで信心の話をしていました。

また、両親共に療養することもあり、苦しい生活の中、教会まで八キロの道のりを歩いて参拝し、一生懸命神様にすがり、信心の稽古を進めました。

また、大口教会に参拝して親先生のお取次を頂き、信心の稽古を進めながら、三十年かかりましたがC型肝炎全快のおかげを蒙らせていただきました。主人は、C型肝炎を発病してからは、ソロバン教室を始め、今もおかけを蒙らせていただいております。

私も、今日まで骨折で三回入院治療し、四年前には胃がんを患い手術を受けました。さらに、私は二十万円ほど、主人も何百万円かの借金と背負わせていただきました。

しかし、その都度一つ一つお取次を頂きながらおかげを蒙らせていただき、完済させていただき、そのことを通して信心のお育てを頂きました。私たちは子どもがおりませんので夫婦の間で会話がありませんが、信心のことについてだけは会話ができます。

信心のない人生は考えることができません、改めて「おかげの自覚」を深めていかねばならないと思います。「御礼喜びの信心」「徳積み信心」「親に孝行する信心」を進めたいと思います。（おわり）



六月に、鹿児島地方教会連合会で作成され、八月号の「いっしん」に掲載いたしました「熊本地震復興祈願詞」は、南九州教区の各連合会から持ち寄られた祈願詞と共に検討され、教区より正式に「平成二十八年熊本地震復興祈願詞」として、九月に発行され、教区内の教会に配布されましたので掲載いたします。コピーしてご利用下さい。

# 平成二十八年熊本地震復興祈願詞

生神金光大神大様、天地金乃神様。（先唱者）

生神金光大神大様、天地金乃神様。

東日本大震災より五年、

復興への道半ばの平成二十八年四月十四日、さらに十六日、

熊本県益城地方を震源とする未曾有の地震が発生し、

台地は裂け、山は崩れ、多くの建物が倒壊しました。

幾多の命が失われ、静かな町並みは瓦礫の山と化しました。

心に傷を負った被災者は、

今なお厳しい生活を送っております。

生神金光大神大様、天地金乃神様。

人智を超えた天地の営みの中、

生かされて生きる私たちは、

親神様の御徳にすぎり、

心尽くして祈ります。

犠牲となられし霊の安心を。

真心込めて願います。

傷つきし人々の立ち行きを。

「人が人を助けるのが人間」との御教えのままに、

復興へのお役に立たせてください。

生神金光大神大様、天地金乃神様。

生神金光大神大様、天地金乃神様。

## 感 詠

（教会長）

しあわせの

匂いするよう

慌ただし

ことをも軽く

受けさせたまえ

忙しく

慌たたくも

その中に

しあわせ匂う

心もちたし

重きこと

抱えていても

にこやかに

微笑むことの

できるぞ尊し

先師から

好きや嫌いを

いうことは

生きれる信心

瘦せると聞きおり

聞くことも

御用も選ばず

ひた受けて

根も幹枝も

繁り栄えて

信心を

太らすために

好き嫌い

せずに喜び

容れてゆかなむ

信心の

まだ浅き人の

ありかたは

神にまかせず

己で背負うか

我がことを

思いて悩み

背追い込み

神に心配

まかせ忘れて

# 「信行取り組み表」

に取り組ませて  
いただきますよう

信行取り組み月別記録表  
〔氏名〕 〇 〇 年 〇 月 〇 日

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 信行の意義を学ぶ												
2. 信行の目的を学ぶ												
3. 信行の意義を学ぶ												
4. 信行の目的を学ぶ												
5. 信行の意義を学ぶ												
6. 信行の目的を学ぶ												
7. 信行の意義を学ぶ												
8. 信行の目的を学ぶ												
9. 信行の意義を学ぶ												
10. 信行の目的を学ぶ												
11. 信行の意義を学ぶ												
12. 信行の目的を学ぶ												
13. 信行の意義を学ぶ												
14. 信行の目的を学ぶ												
15. 信行の意義を学ぶ												
16. 信行の目的を学ぶ												
17. 信行の意義を学ぶ												
18. 信行の目的を学ぶ												
19. 信行の意義を学ぶ												
20. 信行の目的を学ぶ												
21. 信行の意義を学ぶ												
22. 信行の目的を学ぶ												
23. 信行の意義を学ぶ												
24. 信行の目的を学ぶ												
25. 信行の意義を学ぶ												
26. 信行の目的を学ぶ												
27. 信行の意義を学ぶ												
28. 信行の目的を学ぶ												
29. 信行の意義を学ぶ												
30. 信行の目的を学ぶ												
31. 信行の意義を学ぶ												

※記入の際は、必ず「信行」の欄に記入してください。

鹿児島地方教会連合会から始まった「信行取り組み表」は、大口教会の入木田 覺さん（鹿児島地方教会役員）が最初の提唱者です。

今や全国信徒会で取り組まれ、全国の信徒の皆さんにまで広まりつつあります。

天地の親神様に、日々の生活の中で御礼を申し上げる信心の稽古に取り組み、真の信心を身に着けたいものです。

加治木教会の御大祭前にも、十月から一か月間、皆で取り組ませていただきます。表を印刷した紙は、お広前に準備しています。

## ご霊神様のおまじ

十月

平地セイ之霊神	平成 14・10・01
矢野サダ子大刀自之霊神	平成 24・10・03
香山陽子之霊神	昭和 56・10・06
中村正行大人之霊神	平成 23・10・06
大木千鶴子之霊神	平成 16・10・07
上田喜四郎之霊神	平成 03・10・08
中野綾子之霊神	平成 04・10・08
瀬戸淳一之霊神	平成 23・10・10
庄村徳二之霊神	平成 02・10・13
前田シヅ之霊神	平成 26・10・13
有蘭敏雄之霊神	平成 27・10・14
瀬戸秀雄之霊神	昭和 50・10・14
前田照子之霊神	大正 14・10・17
内村 健之霊神	昭和 58・10・17
中野満行之霊神	平成 12・10・18
香山住晴之霊神	昭和 47・10・19
矢野仁吉郎之霊神	昭和 30・10・26
福元フサ子之霊神	平成 15・10・29

「先祖の霊神様の、現世・幽界（かくりよ）での働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」



教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

鹿児島県は、日をあけず墓参りをする習慣があり、どこのお墓もいつも花を絶やさないように気をつけてあり大変良いことあります。「先祖の霊様方も生死を通して天地の大神を恵まれてあることを代わりに御礼申し上げ、大安心のおかげを頂いていただきますよう。

## あしあと 加治木教会行事記録

9月

- 1 (木) ●月例祭（報徳） 10時半
- 3 (土) 54 (日)
- 甘木親教会「信徒の集い」
- 9 (金) 清掃 御用 10時
- 10 (土) ●月例祭（天神様）併せて 10時半
- 13 (月) 青年のひろば企画委員会 教会にて
- 15 (木) 516 (金)
- 甘木親教会壮年部御用（教師）・TSC
- 21 (水) 清掃 御用 10時
- 22 (木) ●月例祭（天神様）共励会 10時半
- 24 (土) 525 (日) 連 青年のひろば



十一月六日(日) 午前十一時

加治木教会 前日御用奉仕

生神金光大神御大祭奉仕

※「祭典後、講師の先生によりご講話。」

御大祭・記念祭・式年祭

【10月】

16 (日) 人吉教会御大祭 11時

23 (日) 出水教会90年記念大祭 11時

30 (日) 上荒田教会御大祭 11時

【11月】

13 (日) 西鹿児島教会御大祭 12時

20 (日) 鹿児島教会120年記念大祭 11時

23 (祝) 宮之城教会55年記念大祭 11時

26 (土) 大口教会御大祭 12時

十二月三日(土)・四日(日)

甘木親教会

生神金光大神御大祭参拝

十月五日〜十一月四日

御大祭前信行期間

ご祈念・研修 午前五時十五分・午前十時  
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

教会行事

※10月1日の月例祭は、御本部参拝のため10月4日に変更しております。

10月……………

1 (土) 2 (日)

3 (月) 御本部<sup>生神</sup>金光大神 御大祭参拝

4 (火) 矢野サダ子白萩大刀自立日

5 (水) 月例祭(報徳) 10時半

6 (木) 安楽家宅祭

8 (土) 中村家霊祭

9 (日) 斎掃御用 10時

10 (祝) 月例祭<sup>生神金光</sup>大神様 併せて 10時半

15 (土) 少年少女会 10時半

16 (日) 人吉教会御大祭 11時

21 (金) 清掃御用 10時

22 (土) 月例祭<sup>天地舎</sup>乃神様 共励会 13時半

23 (日) 出水教会90年記念大祭

30 (日) 上荒田教会御大祭 11時

31 (月) 清掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

11月……………

1 (火) 月例祭・御用奉仕 10時半

3 (祝)

5 (土) 御大祭前御用奉仕

6 (日) 加治木教会御大祭 11時

9 (水) 斎掃御用 10時

10 (木) 月例祭<sup>生神金光</sup>大神様 併せて 10時半

13 (日) 西鹿児島教会御大祭 12時

19 (土) 多良木教会80年記念大祭 11時

20 (日) 立教記念祭・新穀感謝祭

23 (祝) 鹿児島教会120年記念大祭 11時

26 (土) 宮之城教会55年記念大祭 11時

29 (火) 大口教会御大祭 12時

30 (木) 連合会執行部会 10時半

30 (木) 斎掃御用 10時

加治木教会 バンド練習会  
練習日 随時連絡します。